

H109 環境ガバナンス論	
英名科目名	Environmental Governance
大学名	京都産業大学
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1425 FAX : 075-705-1582
担当教員	焦 従勉 (法学部)
開講期間	2021年04月16日(金)～2021年07月30日(金) 4講時 15時00分～16時30分(毎週金曜日) 休講 2021/07/23(金)
開講形態	前期・春学期 開講曜日・講時 金曜日 4講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	5 京カレッジ生定員 5
試験・評価方法	平常点70% 期末レポート30%
超過時の選考方法	書類選考
受講料	科25,000円 聴17,000円
別途負担費用	
その他特記事項	【履修上の注意】 とくにないが、環境問題に関心を持っていることが望ましい。
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】 「環境ガバナンス」とは、環境に関する政策課題やより良い環境管理を、狭い意味での政治や行政の世界だけでなく、企業や市民社会全体の適切な参加も必要です。すなわち、民間団体、専門家グループ、マスコミ、国際機関など、多面的で多様性を持った主体の存在とその役割を認識し、環境問題をよりよく対応するための学問分野です。本講義では、持続可能な社会の構築に向けての理論、課題および各国の事例について考察します。</p> <p>【到達目標】 環境問題の複雑性・多様性・重層性を理解し、社会を構成する多様な主体が環境問題に関する政策形成過程においての相互作用を分析することを通して、環境ガバナンスに対する理解を深めることを目指します。</p> <p>【身に付く力】 論理的思考力、問題解決力</p>	
講義スケジュール	
<p>【講義スケジュール】 第1回：講義の概要 第2回：環境ガバナンスとは何か 第3回：日本の環境問題の変遷と環境ガバナンス 第4回：市民とNPO/NGOの役割 第5回：企業と環境ガバナンス 経済活動と持続可能性 第6回：DVD鑑賞 第7回：環境ガバナンスにおける地方政府の役割 第8回：環境ガバナンスにおける中央政府の役割 第9回：地球環境ガバナンス 第10回：ゲストスピーカー？(内容未定) 第11回：日本の環境ガバナンス事例 第12回：中国の環境ガバナンス事例 第13回：アメリカの環境ガバナンス事例 第14回：ヨーロッパの環境ガバナンス事例 第15回：講義のまとめ</p> <p>【準備学習等(事前・事後学習)】 授業の3日間前までに、講義のパワーポイント資料と参考資料をMOODLEにアップしますので、必ず事前予習すること。また、オンライン授業のため、毎回授業内容についてレポートを提出する必要がある。</p>	

教科書	
参考書	焦従勉・藤井誠一郎『政策と地域』ミネルヴァ書房、2020年 松下和夫『環境ガバナンス論』京都大学学術出版会、2007年 長峯純一『比較環境ガバナンス 政策形成と制度改革の方向性』ミネルヴァ書房、2011